

東松山市の残したい木

第15期 歴史・郷土学部 B 班



水村	中嶋	砂田	吉岡	占部	北村	茂木	小野	林
隆司	昌江	忠夫	一代	智雄	隆夫	美繪	伸二	豊一
		小熊	丸山	長谷川	柴生田			
		初江	房子	けい子	照美			

目次

- 第1章 はじめに
- 第2章 東松山市の指定名木
- 第3章 未来に伝えたい樹木と花木
- 第4章 野田のぼたん教室
- 第5章 参考資料の紹介
- 第6章 今回の活動を通して一言
- 第7章 まとめ

第1章 はじめに

テーマの選定

テーマを決定するに際し、①広く役に立つもの、②市などに提案できるもの、③製本物として興味を持ち読んでもらえるものということ念頭に考えました。

木と文化という観点から考えてみると、多くの民族の文化で根が地下に張り枝は天空に伸びるため、豊穡な生命力、生産力の象徴となってきました。また、特に大きな樹木を神聖視して祀り崇める巨木信仰や神話伝説、そして、森林、あるいは山を信仰の対象とする例があちこちに見られます。神社の鎮守の森やご神木が祀られることもあります。私たちは、このようなことを総合的に考慮して、天然記念物や指定樹木として選定された樹木以外にも、地域の人々と密接にかかわり、人々にやすらぎや潤い、活力を与えている、地域のシンボリックな役割を果たしている木や花を調査しようと課題研究を開始しました。

活動の方法として、時間的な効率性等を考慮し、市内を大岡・松山地区、野本・唐子地区、高坂地区の3地区に分けて、それぞれを3班で調査していくこととしました。

第2章 東松山市の指定名木

東松山市には県指定記念物（1本）、市指定記念物（5本）、名木市認定（17本）があります。市文化財保護委員などで構成されたメンバーが平成19年度に12本、20年度に5本を名木として選びました。

第1節 名木の条件

- (1) 巨木又は古木
- (2) 珍奇で稀有な木
- (3) 由緒ある木
- (4) 歴史上又は学術上貴重な木
- (5) 風致上不可欠と認められる木
- (6) 観光資源として保護すべき木



東松山市の指定名木

第2節 東松山市指定名木一覧

地区	名 称	認定年月日	所在地
大岡	玉太岡神社のムクノキ	昭和 37 年 3 月市指定記念物認定	岡
	太岡神社のカヤ	平成 20 年 3 月名木認定	岡
	森田邸のスギ	平成 21 年 3 月名木認定	大 谷
松山	小川邸のタブノキ	平成 20 年 3 月名木認定	松本町
	松山神社のカシ、モミ、イヌシデ	平成 20 年 3 月名木認定	日吉町
	松山高校のイトヒバ	平成 20 年 3 月名木認定	松山町
	市役所前庭のケヤキ	平成 20 年 3 月名木認定	松葉町
	箭弓神社のフジ	平成 20 年 3 月名木認定	箭弓町
	なんじゃもんじゃの木	昭和 35 年 2 月市指定記念物認定	箭弓町
唐子	不動の滝のヤブツバキ	平成 20 年 3 月名木認定	上唐子
	妙昌寺のサルスベリ	平成 20 年 3 月名木認定	神 戸
野本	萬松寺のシイ	昭和 10 年 3 月県指定記念物認定	柏 崎
	萬松寺のマツ	平成 20 年 3 月名木認定	柏 崎
	岸澤邸のアカマツ	平成 20 年 3 月名木認定	上野本
	上野本のカヤ	平成 21 年 3 月名木認定	上野本
	野本市民活動センターのイロハモミジ (注)	平成 20 年 3 月名木認定	上野本
高坂	正法寺の大イチョウ	昭和 49 年 7 月市指定記念物認定	岩 殿
	宮鼻八幡神社の大ケヤキ	昭和 37 年 3 月市指定記念物認定	宮 鼻
	平田邸のアララギ	昭和 40 年 8 月市指定記念物認定	宮 鼻
	御霊神社のケヤキ	平成 20 年 3 月名木認定	正 代
	弁天沼のエノキ	平成 21 年 3 月名木認定	岩 殿
	松風公園のダギョウショウ	平成 21 年 3 月名木認定	松風台
	千年谷公園のマロニエ	平成 21 年 3 月名木認定	旗立台

注：野本市民活動センターのイロハモミジは病虫害により伐採されました。

第3章 未来に伝えたい樹木と花木

市内には指定されている木以外にも、地元には古くから伝えられてきた木や花など素晴らしいものが沢山あります。ここでは各地区の木や花を紹介します。

地区	名 称	コメント	所在地
大岡・松山	1) 招霊木の木	一円玉のモデルの木	箭弓町
	2) 車輪梅	「ぼたん」後に訪れたい名木	箭弓町
	3) 箭弓稲荷神社の松	池堀に浮かぶ大きな盆栽	箭弓町
	4) 箭弓稲荷神社の縁結びの木	一組でも縁結びを	箭弓町
	5) 上岡馬頭観音の銀	境内にそびえる木	上 岡
	6) 上岡馬頭観音の櫨	2～3人で抱えられる程の大木	上 岡
	7) 宗悟寺の松(本堂)	樹齡300年の巨木	大 谷
	8) ユリノキ	大輪の黄色い花	五領町
高坂	9) 大黒部の桜	畑の中の本桜	大黒部
	10) 物見山公園の紅葉	市内一の標高に育つ大木	岩 殿
	11) こども動物自然公園のユーカリ	公園を象徴する勇姿	岩 殿
	12) 大東文化大学のセコイア	日本一の高い木に育つかも	岩 殿
	13) 藤倉邸の柏	太い幹に大きな穴がある	大黒部
	14) 高坂駅西口ロータリーの櫨	駅前のシンボルツリー	元 宿
	15) 高坂小の銀杏	剪定にめげず頑張る	高 坂
唐子・野本	16) タイサンボク	大輪の白い花	上唐子
	17) 長慶寺の金五郎梅	古木の梅	神 戸
	18) 妙昌寺の藤	横幅27mの藤	神 戸
	ぼたん育て方教室	市のシンボルの花	野 田

(1) 招霊木 (おがたまのき)

箭弓稲荷神社本殿の裏、元宮稲荷神社（市指定文化財）の右側、榊に似た通称一円玉のデザインの木と思われる。地味な木であるが、知らない人が多く珍しいので取り上げて見ました。招霊木というのは神社にとって非常にゆかりのある木です。その名前が示すとおり、神様の御神霊をお招きする木ということで今現在、地鎮祭などの神様をお招きする祭祀の時は神籬（ひもろぎ）と言って、榊の枝を使うことが多いのですが。その昔、榊が自生していない地区は、招霊木が神宿るご神木であったのでしょうか。この木の枝は天に向かって真っ直ぐに伸びていこうとする枝ぶりです。神霊が降りてこられる木であるという由来はそこから来ているとも言われているようです。この木は、神楽鈴、一円玉コインの木のデザインに似ているという共通点があります。実際の処一円玉のデザインは実在する木をモデルにしたわけでは無いそうですが、実は微妙に似ています。天に向かって真っ直ぐ伸びていく枝の形や、花のつぼみ、葉の形などそっくりです。「鈴なり」という言葉がありますが、これも神楽鈴からきた言葉らしく、神楽鈴の意匠はおがたまの花が咲いている様を表しているそうです。神楽鈴は「鈴なり」（豊作）、一円玉の円は「丸くおさまる」（円満）に繋がりますので、興味深いおはなしですね。

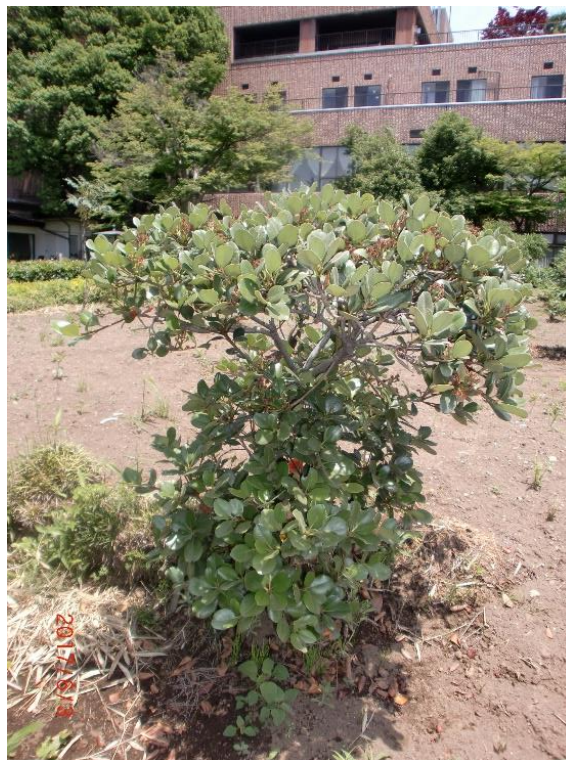


(2) 車輪梅 (シャリンバイ)

箭弓稲荷神社の牡丹園内（入場口から右方向）にあり、何とも優しい響きと、乗り物を想像させるバラ科の木シャリンバイにとっても興味を持ちました。（尚、本殿裏にも一本あります）

5月に、梅に似た白い五弁の花をつけ、小枝は車輪のスポークのようでこの名前がついたとの事です。特徴としては、葉は楕円形で厚く、深緑色でつやがあり枝先に葉が集中する傾向があり、単葉で車輪状に互生します。

10～11月に直径1cm程の球形のナシ状果の果実は黒紫色に熟します。乾燥や大気に強い事から、多くは道路わきに植えられている様です。地味な木ではありますが初夏の梅として、訪れる人の心に残る木となり牡丹とならぶ名木となる事を望みます。



(3) 箭弓稲荷神社の松

箭弓稲荷神社境内の牡丹園の池堀の「松」に目が引き寄せられます。樹形は、まるで池面に浮かぶ巨大な盆栽です。

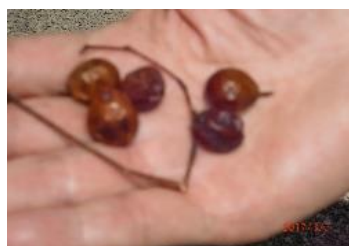
樹高は約3mとあまり高くはありませんが、左右バランスよく張り出していて、後光がさしているようです。

すぐ近くの左側には、東武鉄道根津社長寄贈の松も水面に古木感を漂わせています。箭弓稲荷神社に、参拝や行事などで訪れる際には、これらの樹木にも目を向けて、池堀の松を鑑賞するゆとりを持つことができれば、ゆったりとリラックスしてすがすがしく、心豊かに新たな気分になることでしょう。



(4) 箭弓稲荷神社の縁結びの木

箭弓稲荷神社の「牡丹園」の前に縁結びの木があります。説明書によれば、互いに支えあい、寄り添うように生える松と、梅檀（せんたん）の木は、いつしか男女の出会い、人間関係の願いを叶える木として、「縁結びの木」と呼ばれるようになり



ました。樹木の保護と共に支えあい、仲睦まじく生い立てる木の麗しき姿にちなみ、地域の輪と活性化、人と人との縁の広がりを願い、かわいい男女のキツネの石像を建立しています。今日「やっくん」「きゅうちゃん」の愛称で親しまれています。

梅檀の木は、毎年1月に甘くて、いい匂いのする実をつけるそうです。その実を天日干しにして皮をむき、中の六角形の形をした実を取って縁結びのお守りにするそうです。若い人たちの縁結びを願って、「縁結びの木」を未来に伝えたい木として残したいと思います。



(5) 上岡馬頭観音の銀杏

樹齢は、分からないが見たところ大変大きな銀杏木で幹周（約3.2m）、樹高（約20m）。境内にどんとあり見事に聳えていて、私たちを見守っているようです。又銀杏には、実の成るものもあるので、花も咲くと思い調べて見ました。

上岡観音さまは毎年2月19日がお祭りで、賑わうようです（絵馬・大豆・笹が売られている）。昔、馬が病気になり観音さまの境内に生えている都笹を食べさせたら、馬が元気になったことで笹が有名になりました。今は自生地が駐車場になり笹はありません。



(6) 上岡馬頭観音の櫨

ニレ科の落葉樹で春に新しい葉とともに、うすい黄緑色の小さな花が開きます。それぞれ数個ずつ集まって、ともに淡黄緑色でサクラが華やかな季節にケヤキの花も満開になります。気づく人は少なく、幹周（約2.5m）樹高（約20m）で写真のように2～3人が抱える程の大木です。

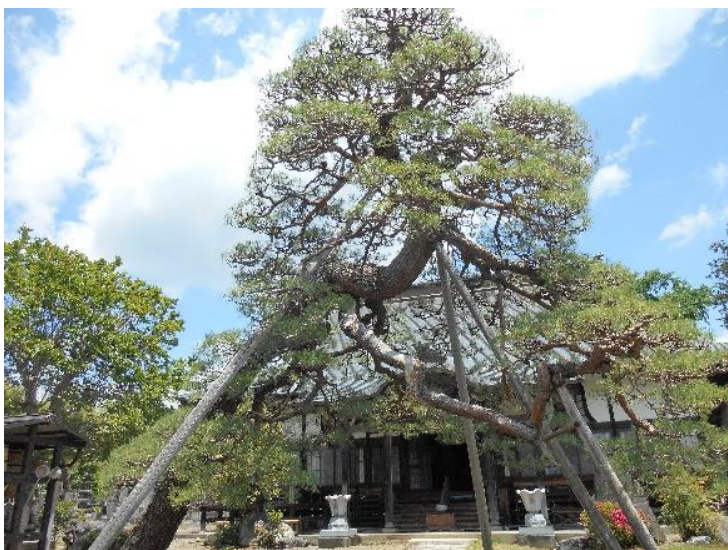


(7) 宗悟寺の松（本堂前）

樹周1.8m、樹高10m推定樹齢300年といわれる巨木が、本堂前に優美な樹幹を作っている。この松の特徴は幹が7～8mの高さまで太いままで、そこから枝が四方に地をはうように伸びています。

幹が上まで太い松は見たことが無く大変珍しい。曹洞宗扇谷山宗悟寺は、当地方旗本森川氏が開山し、森川氏累代の墓があります。

また源氏ゆかりの寺で、比企一族の顕顯碑が建立され、頼家公の位牌が安置されており松が寺の歴史をそのまま伝えているようです。現在は住職による献身的な保護活動が行われ、歴史と自然の美が調和した佇まいであります。



(8) ユリノキ(百合の木)

ユリノキ(百合の木)はモクレン科ユリノキ属の、伸びの早い落葉高木です。五領町の近隣公園内に20本も木がグラウンド側に二列に並んでいます。長い木陰を作り、市民の憩いの場所、散歩道としての一員を担っています。原産地はアメリカで日本には明治初期に渡来しました。初夏 5～6月頃梢に咲く花は黄緑色の、花弁に赤い斑点が入ったチューリップに似た花を咲かせます。葉は奴さんのような、または軍配のような珍しい形です。



幹回り：120cm位

樹高さ：24m～37m

(9) 大黒部の桜

国道407号宮鼻交差点から西へ100mほど進んだ畑地に一本のサクラ（ソメイヨシノ）の大木（幹回り：2.6m樹高：約12m）があり、毎春、見事な花を付け、地元の方々や道行く人、さらには近くを車で通る人を楽しませてくれます。畑の持ち主である澤田さんの言によれば、20年ほど前に近くのホームセンターから太さ3cmの苗を購入したものがみるみる大きく育ったとのことである。ソメイヨシノは成長が早いですが、朽ち易く、寿命は通常60年とされています。しかし、環境と手入れが良ければ100年以上も元気な事例が全国各地で報告されています。



この大黒部のサクラは土壌と水と日当たりがよほど性に合ったのか、幹回り2.6mにも達した今でも、まだ若々しい木肌を保っています。過度な剪定をせずに、このまま伸び伸び成長すれば、50年先には想像を超える大木になることが期待されます。

(10) 物見山公園の紅葉

つつじと桜の名所、物見山は標高135mと市内で最も高く、展望に恵まれ、花の時期には大勢の見物人で賑わいます。公園の頂上には東屋に近接して知る人ぞ知る大きな紅葉の木があり、春は薄緑の若葉、夏は涼しげな木陰を作り、晩秋には見事な紅葉を見せてくれます。頂上には、そのほか大きな桜や松も林立しています。また、物見山の近くには、坂東三十三札所十番の正法寺（岩殿観音）や、県立のピースミュージアムがあり、公園を訪れる人にこれらの樹木や東松山市街を見下ろす展望の素晴らしさを実感してもらいたいものです。



(1 1) こども動物自然公園のユーカリ

コアラで知られる「こども動物自然公園」には、県内外から多くの老若男女が訪れ、市の観光ポイントの重要な位置を占めています。自由広場奥の東園入口に公園を象徴するように一本のユーカリが勇姿を見せています。ユーカリの葉は毒素（青酸）を含んでおり、周知のようにコアラだけが食用にします。

ここに紹介するユーカリは食用としてではなく、おそらく国内ではほとんど知られていないユーカリの成木を訪れる人に見て貰うつもりで植えられたものと思われます。



(1 2) 大東文化大学のセコイア

大東文化大学、東松山キャンパス北側の駐車場の入り口に、一本の細長い木があり、説明板が立っています（写真1）。説明によれば、同大学のレスリング部がアメリカへ遠征した折に、相手チームから寄贈されたもので、セコイア又はレッドウッドとも呼ばれています。セコイアはアメリカの西海岸に沿った山脈に生えており、高さ100m、樹齢2000年を越える巨木が発見されています。移植した時は50cmほどであった苗木が今は高さ10m近くに成長しました。気候風土が大きく異なる東松山でどれほど伸びるか定かではありませんが、将来には県内どころか国内随一の巨木に育つと期待されます。



写真1 セコイア

この東松山キャンパスには、セコイアと同じ杉の仲間ですが、別種の中国原産のメタセコイアが数十本、植えられており、キャンパスに豊かな緑を添えています（写真2）。メタセコイアも高さ50mの大木に成長しますが、常緑のセコイアとは異なり、落葉します。東松山キャンパスがセコイアとメタセコイアのある学園として、市民に広く開放され、親しまれるようになることが望まれます。



写真2 メタセコイア

（13）藤倉邸の柏

藤倉邸の庭園に足を踏み入ると、一際大きなカシワの木が迎えてくれます（写真1）。樹齢200年以上であり、藤倉さんが子どもの頃には現在の太さであったと言い伝えられています。カシワは落葉樹ですが、春に新葉が出るまで去年の古い葉が付いていることから、子孫が絶えることのないよう家運隆盛を象徴する木とされています。このため、毎年秋の剪定の際には、必ず数枚の葉を残すようにしているそうです。

このカシワの幹の高さ1.5m程の位置に大人の拳が入る穴が空いています（写真2）。穴から手を突っ込んでみると、幹の中心部は大きな空洞になっており、幹の外側部だけが生きており、樹齢を保っていることがよく分かります。



写真2



写真1

(14) 高坂駅西口ロータリーの樺

高坂駅西口のロータリーは平成3年に完成しました。この時、植えられた細いケヤキが26年を経て、幹回り2.2mの大木に立派に成長しました。この程度の大きさのケヤキは決して珍しくはありませんが、駅を毎日のように利用する通勤・通学客や遠来の行楽客などに潤いを与えるシンボルツリーとして、これからも伸び伸びと大きく育てたいものです。ロータリーには見事な白モクレンもあり、毎春、ふくよかな花を咲かせます。また、高坂彫刻通りの始点として高田博厚の彫刻が設置されており、併せて観賞したいものです。



(15) 高坂小の銀杏

高坂小学校には、エンジュ、樺、モチノキなどの大木があり、雄姿を誇っていましたが、校舎建て替えの都合で強い剪定に遭い、見る影もなく無残な姿をさらけ出しています。

ここに紹介する銀杏もその1つであり、上半分以上の幹が切断された丸坊主によく若葉が茂り出した状態です(写真1)。木にとって非常に過酷で残念なことです。生きている化石といわれるイチョウの強い生命力を信じ、元のように幹を大きく広げて生い茂る姿を、在校生、卒業生や近在の皆さんにできるだけ早く見せてくれることを念じて止みません。



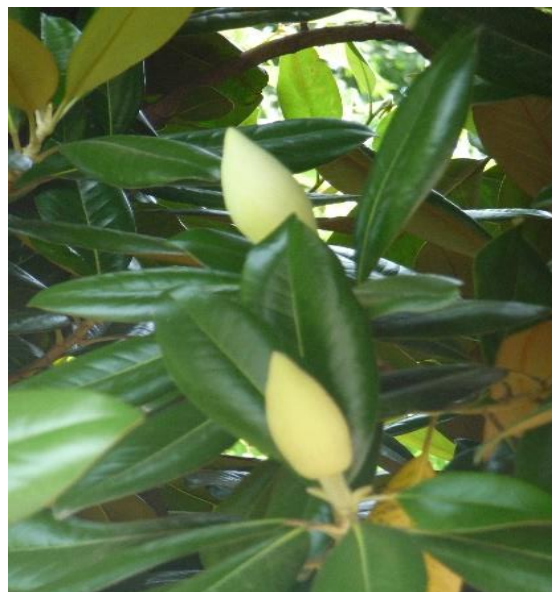
写真1 銀杏

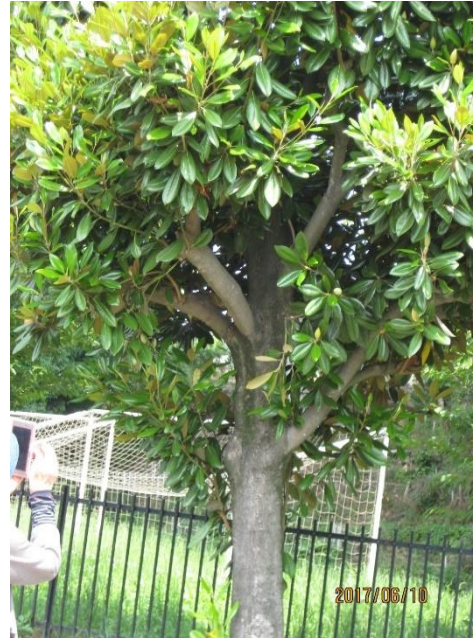
(16) タイサンボク

市水道庁舎と隣接するL字型道路を挟んで、駒形公園多目的広場に10本の大きなタイサンボクが並んでいる。何10年前か定かではありませんが、この道を通りかかった折り、とても良い香りを放つ白い大きな花が忘れられません。以前と変わらず今も、きれいな花を咲かせています。

また、箭弓稲荷神社の中央に位置し、10m近くあったタイサンボクは見事な木で、大きな白い花と光沢のある葉は、ぼたんと並び訪れる人を楽しませてくれていました。残念ながら、今は枯れ太い幹だけが残っています。しかし、近くの迎賓館入口に若木があり、将来が楽しみです。

タイサンボク(泰山木、大山木)はモクレン科の常緑高木で北米中南部原産(1873年に渡来)。花期は5月～6月頃、大輪で純白の香り高い10cm～20cm位の花が上向きに咲く。花からマグノリアの香水が作られます。花弁は6枚、萼片は3枚(いちばん外側にある花を守るもの)樹皮は灰褐色で滑らか、小枝は15cm～20cm位の濃緑色の長楕円形、表面は光沢があり、裏面は毛が密生し、錆色、縁は鋸歯です。日本の樹木の花としては最大級であります。





(17) 長慶寺の金五郎梅

金五郎梅は長慶寺本堂南に植えてある老梅です。明治初年に長慶寺で無宿連中同士が喧嘩になり、遂に殺人事件が起き甲州無宿の博徒金五郎という被害者がでました。加害者が和尚に相談に行った所、和尚は本堂の脇に埋葬して、ねんごろに葬ったそうです。その傍らに梅の苗を植えたところ、誰言うとなくその梅の木を金五郎梅というようになったそうです。

中央の幹は半分以上の枯れている状態でも枝には毎年梅の実が沢山できています。



(18) 妙昌寺の藤



縦 約6m 横 約27m



妙昌寺は市指定のサルスベリの有る寺で、山のふもとの駐車場に藤棚が有ります。5月ごろが、見ごろで香りもよく見事に咲きます。普通の藤よりも少し遅れて咲くようです。花後は、毎年綺麗に開花させるために剪定したり実をつんだり手入れが大変そうです。

花房丈約1.2mの藤は少し若木ですがこれからが楽しみです。一般名称としての藤には、つるが右巻き（上から見て時計回り）と左巻きの二種類があります。右巻きの藤の標準和名は「フジ」または「ノダフジ」、左巻きの藤の標準和名は「ヤマフジ」または「ノフジ」です。花はうすい紫色で、藤色の色名はこれに由来するようです。

第4章 東松山市のぼたん育て方教室

東松山市のぼたんは古くから有り、箭弓稲荷神社、野田に有ります。ぼたんは、市民の自然に親しみ、自然を愛護する心を深める為に、市の象徴として市の木、花を昭和49年5月1日に市制施行20周年記念として指定されました。ここで私達は5月4日、5日の東松山市野田ぼたん園で行われたぼたん育て方教室に参加しました。テントの下、市役所都市計画課の方から育て方を学びました。苗木をプレゼントされ、1年間ぼたんを大切に育て、来年のぼたん祭りに展示することになっています。



第1節 植え付け（9月～11月）

直接植え付けの場合

- ・ぼたんは芍薬に接ぎ木して育ててある。
- ・接ぎ口より5cmから10cm程度高く盛土して植える（ぼたんの根を出すため深植えがポイント）。

鉢植えの場合

- ・鉢の底に軽石を敷き、肥料、鹿沼土、赤玉土などブレンドした通気性のある土に植える。乾燥には強いが過湿には気をつける。



第2節 花前管理（3月～4月）

直接植付けの場合

- ・病害対策は、葉が展開する頃からカビ病、害虫の対策として殺菌剤を散布する。

鉢植えの場合

葉が伸びる頃はたっぷりと水をやる事



第3節 花後管理（5月～開花後）

- ・花が終わったら早めに花首から花を切り落とす。
- ・花後、肥料をあげる。
- ・芽かき（茎と茎の間から出た芽を、下から2～3芽残して摘み取る）。
（高さを抑えること、枝を伸ばしたい方向へ育てる）

第4節 整枝・剪定（12月～2月）

- ・芽かきを行った上のいらぬ部分を切る。
- ・枯れ枝を剪定する。
- ・芽かきを行なわなかった場合、花芽は先端につくので、剪定により花芽を切らない。



第5章 参考資料の紹介

- 1) 東松山市観光協会商工課 www.higashimatsuyama-kanko.com/
- 2) 東松山市ホームページ www.city.higashimatsuyama.lg.jp/
- 3) 「東松山市の巨樹・巨木」
- 4) [タイサンボク - Wikipedia](#)
- 5) ぼたん育て方通信（東松山市役所都市計画課）野田ぼたん園

第6章 今回の活動を通して一言

1) 林 豊一

私自身初めての大学最後の大きな事業ともいえる課題研究において、リーダーとして班員12名の力量を存分に発揮できる環境を整えることができたでしょうか。

2) 中嶋 昌江

木などの伐採したものが放置されたのが目に入りました。チップなどにして公園とか歩道に敷けば良く、足にも環境にも良いと思います。

3) 水村 隆司

研究を終わって見ると、東松山市に住んで30年を過ぎたが実際に調査を行って見ると知らない事が多く勉強になりました。

4) 茂木 美繪

樹木に触れ大木に咲く花を再認識しました。大輪の白い花タイサンボクは良い香りを放ち、ユリノキは黄緑色の花卉がとても印象的で感動しました。

5) 小野 伸二

何も喋らず欲張らず、陽光と風雨のみで何百年もの間、根を張り繁茂する林間に生きものを育てている樹木の永遠で偉大さを認識しました。

6) 北村 隆夫

たくさんの大木・名木を鑑賞し深く刺激を受けながら、楽しく課題研究に取り組むことができました。

7) 小熊 初江

私達の町に沢山のすばらしい樹木があり、郷土に改めて誇りを感じました。皆さんも東松山市にお越しく下さい。

8) 長谷川けい子

課題研究で市内を回ってみて何百年も立っている木や、新しい物でも珍しい物があり、とても興味が湧いて来たのでこれからも勉強していきたいと思います。

9) 柴生田 照美

樹齢300年の宗悟寺の松、住職による献身的な保護活動で、歴史と自然の美が調和した佇まいが保たれているのに感動しました。

10) 丸山 房子

課題研究が始まり、東松山市の木について調べる事になり、近くに立派な木があるのを発見しました。

11) 占部 智雄

あまり樹木等に興味がありませんでしたが、課題研究で市の指定名木以外にも、まだ沢山の名木があることを知り、これからは興味を持って行きたいと思います。

12) 吉岡 一代

この課題研究で私が感心したのは、セコイアの木です。樹齢2000年以上、樹高150mにもなり、もうびっくりしました。

13) 砂田 忠夫

今回、初めて皆様の研究課題のレポートの編集・作成を担当して樹木や花木について知らないことが多くて大変勉強になりました。

第7章 まとめ

普段、自然の中で密接に、人間をはじめとした生物に大きくかかわりを持つ「木」をテーマとして取り組んだ私たちの課題研究。「木」の効用を見てみると、古来より全世界において人間生活と関わり合い、生活の一部となってきました。たとえば、家具、楽器やスポーツ用品などの様々な道具の材料や、木の発する香りはリラックス効果が認められています。この最たるものが、香道と呼ばれて日本に存在しています。そのほか、化粧品、薬、アロマセラピーなどでも使用されています。

このように、「木」は私たちにとって欠かせないものでありながら日常生活において、あまり意識せずに生活しています。

市内には、県や市に名木指定されたものではなくても、地域の人たちのシンボリックな存在となっている「木」や、古くから地域に言い伝えられている「木」などを調べてみました。

今回私たちが将来に伝えたいと推薦する木は、特別な条件の下で選定したものではありません。したがって、他にもみなさんが素晴らしい、感動を覚えるものがたくさんあると思います。市内各所のいいところを再発見し、これからも引き続き市内で有意義に暮らしていく上で、大きな財産となりました。

これらのことが皆様にとりまして、今後の何らかの一助になれば幸いです。